

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和2年度

めざす姿	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”
施策名	1 市民が元気に活動するための環境づくり
施策関係課	(市民生活部)自治振興課・協働推進課・芝支所・川口駅前行政センター／(環境部)朝日環境センター

●施策の基本方針(目標)

市民の自発的な活動を促すとともに、それらの活動の成果を地域にも還元できるような環境づくりを進め、市民の手で地域全体が元気になるようなまちをめざします。

●目標指標

指標	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)	単位	%	指標の種別	成果
指標①	目標値	現状値を上回る(令和2年度)	現状値	32.6(平成27年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	32.8	34.4	30.5	32.6	33.9
	名称	町会・自治会加入率			単位	%
指標②	目標値	65.0(令和2年度)	現状値	63.8(平成26年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	62.1	60.8	59.7	58.0	57.4
	名称	NPO法人・ボランティア団体数			単位	団体
指標③	目標値	550(令和2年度)	現状値	410(平成26年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	373	395	387	375	344
	名称				単位	
指標④	目標値	現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称				単位	
指標⑤	目標値	現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称				単位	

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度決算額
事業額	事業費	166,091	171,958	166,550	162,935	148,856
	概算人件費	120,232	120,622	119,593	121,410	114,932
	総事業費	286,323	292,580	286,143	284,345	263,788

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 52	単位施策② 55	単位施策③	
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	A			53.5	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和2年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度の総評価	令和3年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
61100101	自治振興事業	市民生活部	28,378	27,811	27,858	27,660	27,638	58	現状維持で実施
		自治振興課	4,592	6,240	4,661	4,661	5,530		
61100201	市表彰関係事業	市民生活部	1,943	2,351	1,574	1,581	1,410	58	現状維持で実施
		自治振興課	2,460	2,340	2,291	2,291	2,370		
61100301	新春交礼会事業	市民生活部	8,871	8,760	9,038	8,776	7,685	55	現状維持で実施
		自治振興課	2,050	1,950	1,896	1,896	1,896		
61100401	たたら祭り実行委員会交付金(令和2年度休止)	市民生活部	20,000	20,000	30,000	20,000	—	—	—
		自治振興課	6,560	5,850	5,925	5,925	—		
61100501	町会会館建築事業等補助金	市民生活部	30,561	37,174	24,455	31,943	27,738	58	現状維持で実施
		自治振興課	1,886	546	1,343	1,343	1,185		
61100601	コミュニティ推進事業	市民生活部	8,461	8,361	6,363	4,421	4,227	58	現状維持で実施
		自治振興課	5,494	4,368	3,555	3,555	3,555		
61100801	コミュニティセンター指定管理者管理運営費	市民生活部	1,326	1,347	1,390	1,351	1,365	52	現状維持で実施
		自治振興課	1,886	1,794	1,027	1,027	1,343		
61100831	集会所施設管理費	市民生活部	9,723	8,684	7,217	7,656	7,107	45	現状維持で実施
		芝支所	0	1,950	948	5,135	5,530		
61100901	地域コミュニティ活動活性化事業補助金	市民生活部	13,111	12,640	13,493	13,221	12,727	56	現状維持で実施
		自治振興課	1,476	1,638	1,422	1,422	2,212		
61101001	マンションコミュニティ支援事業	市民生活部	320	300	300	300	300	48	縮小して実施
		協働推進課	656	546	553	553	553		
61101111	市民ホール施設運営費	市民生活部	17,844	20,490	20,830	20,934	20,498	36	現状維持で実施
		芝支所	19,782	21,484	31,271	30,876	28,032		
61101201	川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費	市民生活部	4,982	4,481	3,990	3,546	21,791	50	現状維持で実施
		川口駅前行政センター	738	702	711	711	711		
61101301	コミュニティセンター指定管理者管理運営費	環境部	1,581	1,575	1,599	1,559	1,481	52	現状維持で実施
		朝日環境センター	820	780	790	790	790		

単位施策名 ② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度の総評価	令和3年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
61200051	市民パートナーステーション施設管理費	市民生活部	8,558	9,406	8,777	10,149	9,518	58	現状維持で実施
		協働推進課	26,240	27,300	27,650	27,650	27,650		
61200101	盛人大学事業	市民生活部	3,893	3,499	3,592	3,823	4,879	52	効率化して実施
		協働推進課	22,632	21,294	13,430	11,455	11,455		
61200201	市民との協働推進事業	市民生活部	6,539	5,079	6,074	6,015	492	54	現状維持で実施
		協働推進課	22,960	21,840	22,120	22,120	22,120		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61100101	事業名称	自治振興事業	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5311)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	町会・自治会加入者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	住みよい地域づくりのためにコミュニティ組織の充実と推進を図る	市民の自治活動及びコミュニティ事業に関すること 町会・自治会等住民組織の振興に関すること		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・広報活動報償金を231町会・自治会に交付 ・感謝状を76町会234名に贈呈	主な実績		
		項目	実績 単位	
事業の成果【定性的評価】	地域におけるコミュニティ組織の充実及びコミュニティ活動の推進が図れた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	20目	002細目	01細々目	自治振興事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	28,620	28,321		28,196		28,022	28,022			
決算額(B)=(C)+(D)	27,858	27,660		27,638						
財源※	特定財源(C)	5	5		5		5			
	一般財源(D)	27,853	27,655		27,633		28,017			
概算人件費(E)	4,661	4,661		5,530		5,530	5,530			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.59	0.00	0.59	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	32,519	32,321		33,168		33,552	33,552			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	なし	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61100201	事業名称	市表彰関係事業	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5313)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市表彰規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市表彰規則に基づく表彰対象者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	自治の振興と公益福祉の増進に貢献した者を表彰する	表彰式を開催し、表彰状及び記念品を贈呈する		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	11月10日に川口市表彰式を開催し、表彰状及び記念品の贈呈をした。	項目	実績	単位
		令和2年度 功労表彰	2	名
		令和2年度 一般表彰	67	名
事業の成果【定性的評価】	市政功労者計69名を表彰した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	20目	002細目	02細々目	市表彰関係事業			
年度	平成30年度	令和元年度			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
予算額(A)	2,978	2,406			1,965		1,883		1,883	
決算額(B)=(C)+(D)	1,574	1,581			1,410					
財源※	特定財源(C)	0			0		0			
	一般財源(D)	1,574	1,581			1,410		1,883		
概算人件費(E)	2,291	2,291			2,370		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.29	0.00	0.29	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,865	3,872			3,780		4,253		4,253	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	なし	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61100301	事業名称	新春交礼会事業	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5311)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	町会・自治会加入者及び企業・団体等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	新年の祝い行事	市民、各種団体等が一同に会して新年を祝い交歓する	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	項目	実績 単位
		令和3年新春交礼会申込者	2,115 人
事業の成果【定性的評価】	中止になったため、判定不能		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	20目	002細目	03細々目	新春交礼会事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	9,901	10,333	11,119	10,935	10,935			
決算額(B)=(C)+(D)	9,038	8,776	7,685					
財源※	特定財源(C)	5,512	5,126	6,000	5,700			
	一般財源(D)	3,526	3,650	1,685	5,235			
概算人件費(E)	1,896	1,896	1,896	1,896	1,896			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.24	0.00	0.24	0.00	0.24	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	10,934	10,672	9,581	12,831	12,831			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
55 /60	申込者が減少傾向にあり、申込者を増加させる方法を検討する必要がある。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61100501	事業名称	町会会館建築事業等補助金	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5311)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市町会会館建築事業等補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	町会・自治会	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	コミュニティ活動の拠点となる町会会館を整備することにより、コミュニティ活動の推進を図るため	町会・自治会の所有する会館の建築事業等に対する補助金の交付		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	町会・自治会が行う会館の新築及び修繕に対する補助金の交付	項目	実績	単位
		新築		1 件
		修繕		11 件
事業の成果【定性的評価】	12町会・自治会に対し合計27,738,000円の補助金を交付した。コミュニティ活動の拠点となる町会会館の整備に対し補助し、地域社会における市民の自治と連帯の意識を高め、コミュニティづくりの推進に寄与した			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
指標②	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	20目	002細目	05細々目	町会会館建築事業等補助金	
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
予算額(A)	29,000	33,000		28,581		22,403		65,396
決算額(B)=(C)+(D)	24,455	31,943		27,738				
財源※	特定財源(C)	10,000	10,000		5,000		5,000	
	一般財源(D)	14,455	21,943		22,738		17,403	
概算人件費(E)	1,343	1,343		1,185		1,185		1,185
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.17	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	25,798	33,286		28,923		23,588		66,581

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性	
58 /60	町会会館の老朽化による雨漏り等の改修要望が増えている。 高齢化による畳からフローリングや手すりの設置等バリアフリー対応が求められている。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61100601	事業名称	コミュニティ推進事業	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5311)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	町会・自治会	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	コミュニティ事業の活動の支援	コミュニティ活動補償制度、公共的活動における事故傷害見舞金、事業助成金等			
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
		コミュニティ事業助成金の交付及びコミュニティ活動補償制度の適用	項目	実績	単位
			コミュニティ事業助成金		1 件
			コミュニティ活動補償制度(事故件数)		2 件
		コミュニティ活動補償制度(支払件数)		2 件	
事業の成果【定性的評価】	地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与した				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	20目	002細目	06細々目	コミュニティ推進事業	
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度	
予算額(A)	9,614	8,715		9,615		9,401	9,401	
決算額(B)=(C)+(D)	6,363	4,421		4,227				
財源※	特定財源(C)	4,400	2,500		2,400		7,200	
	一般財源(D)	1,963	1,921		1,827		2,201	
概算人件費(E)	3,555	3,555		3,555		3,555	3,555	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,918	7,976		7,782		12,956	12,956	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	ニーズが多様化している中、助成事業数増加の要望や補償制度の補償内容の検討が必要となっている。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61100801	事業名称	コミュニティセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5311)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市コミュニティセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	芝コミュニティ委員会	施設利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	芝コミュニティセンターの施設管理	芝コミュニティセンターの維持管理及び施設修繕等		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 指定管理者制度のもと、芝コミュニティセンターの管理運営を芝コミュニティ委員会に委託した	主な実績		
		項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	事故等の問題なく運営できた			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	20目	002細目	09細々目	コミュニティセンター指定管理者管理運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	1,500	1,500		1,500		1,500	1,500			
決算額(B)=(C)+(D)	1,390	1,351		1,365						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,390	1,351		1,365		1,500	1,500		
概算人件費(E)	1,027	1,027		1,343		1,343	1,343			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.13	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,417	2,378		2,708		2,843	2,843			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	なし	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61100831	事業名称	集会所施設管理費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	芝支所	問い合わせ先	258-1110(#51-2781)	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市鳩ヶ谷集会所設置及び管理条例等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	集会所	施設利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	鳩ヶ谷区域内16ヶ所の集会所の施設管理	鳩ヶ谷集会所の維持管理及び施設修繕		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・集会所の修繕、備品購入 ・除草委託、清掃委託、鍵保管委託業務等	主な実績		
		項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	特になし			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	29目	003細目	01細々目	集会所施設管理費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	8,084	8,729		8,052		8,073		8,073		
決算額(B)=(C)+(D)	7,217	7,656		7,107						
財源※	特定財源(C)	1,452	1,118		361		1,118			
	一般財源(D)	5,765	6,538		6,746		6,955			
概算人件費(E)	948	5,135		5,530		5,530		5,530		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.12	0.00	0.65	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,165	12,791		12,637		13,603		13,603		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	6 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
45 /60	経年劣化による建物の老朽化が進んでおり、今後の集会所のあり方を検討していく必要がある。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61100901	事業名称	地域コミュニティ活動活性化事業補助金	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5311)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市地域コミュニティ活動活性化事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	地区連合町会	町会・自治会	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	地区連合町会が、協働及び共助の理念に基づき、住みよい地域づくりを目的として行う公共・公益的な地域コミュニティ活動事業の推進を図るもの	コミュニティ事業に要する経費に対する補助	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	地区連合会の実施した事業に対して、補助金を交付した	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	19地区連合町会の実施した事業に対して、補助金を交付した		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	20目	002細目	12細々目	地域コミュニティ活動活性化事業補助金			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	14,625	15,625		15,625		15,625	15,625			
決算額(B)=(C)+(D)	13,493	13,221		12,727						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	13,493	13,221		12,727		15,625			
概算人件費(E)	1,422	1,422		2,212		2,212	2,212			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.28	0.00	0.28	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,915	14,643		14,939		17,837	17,837			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	町会・自治会単位での加入促進活動の事例を周知し、制度の利用を促進する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61101001	事業名称	マンションコミュニティ支援事業	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	協働推進課	問い合わせ先	227-7633(#61-2903)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市協働推進条例、川口市マンションコミュニティ連絡協議会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	マンション居住者・居住予定者	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	マンションコミュニティにおける管理上の問題、日常生活での問題についての相談の機会を設けることで、町会、自治会を基盤とするコミュニティ形成の活性化を図る。	・マンションコミュニティに関するセミナーや会員交流会の開催 ・会報紙の発行による情報提供	
令和2年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・ベランダ菜園講習会(8月、3月) ・セミナー(7月) ・情報交換会(8月、10月、12月) ・会報紙の発行(7月、1月) ・定例会	項目	実績 単位
		ベランダ菜園参加者	38 人
事業の成果 【定性的評価】	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止や延期となった事業もあった中、マンション管理における知識の周知やマンションが抱える問題点(防災、修繕積立金等)に関する情報提供を行い、マンションコミュニティの形成に寄与した。		
		マンション管理セミナー参加者	17 人
		会報の発行	2 回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	各種セミナー等の参加者			指標・目標値の説明(算定式)	実施したセミナー等の参加者数において、過去3年間の参加者数の平均値を指標として、今年度の実績を評価する。			
	単位	人	指標の種別	活動					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	87	89	88	88	88			
		100 達成	112 達成	55 未達成					
指標②	名称	会報紙発行による情報提供件数			指標・目標値の説明(算定式)	年間に1,500件の情報提供を目標値として設定。			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500			
		1,400 未達成	1,500 達成	1,400 未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	31目	003細目	01細々目	マンションコミュニティ支援事業			
年度	平成30年度	令和元年度			令和2年度		令和3年度	令和4年度		
予算額(A)	300	300			300		300	300		
決算額(B)=(C)+(D)	300	300			300		300	300		
財源※	特定財源(C)	0			0		0	0		
	一般財源(D)	300			300		300	300		
概算人件費(E)	553		553		553		553		553	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	853		853		853		853		853	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	マンション施策について、市の体制に不透明な部分があるため、庁内で連携を図り、調整の場を設け、他部署との協働の可否を確認しながら、マンション施策の効率化を図っていく。	3年度 縮小して実施 4年度 縮小して実施 5年度 縮小して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61101111	事業名称	市民ホール施設運営費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	芝支所	問い合わせ先	265-1166	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	芝市民ホール・鳩ヶ谷駅市民センター・ふれあいプラザさくらの施設・設備	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	芝市民ホール・鳩ヶ谷駅市民センター・ふれあいプラザさくらの施設を適切に運営させ、利用者の利便性を高めることを目的とする。	施設利用者が便利・快適に利用できるための施設管理業務を行う。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	①市民ホール利用許可に関する業務 ②市民ホールの利用に関わる料金収納業務 ③施設の維持管理に関する業務	項目	実績 単位
		公的団体・免除団体・減額団体	369 件
		一般団体	2,452 件
事業の成果【定性的評価】	地域住民・団体等に交流、会議、研修等の場を提供し、地域社会の発展に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	29目	002細目	01細々目	市民ホール施設運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	20,941	21,328		22,424		21,415	21,415			
決算額(B)=(C)+(D)	20,830	20,934		20,498						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	20,830	20,934		20,498		21,415			
概算人件費(E)	31,271	30,876		28,032		28,032	28,032			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.49	1.00	3.44	1.00	3.08	1.00	3.08	1.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	52,101		51,810		48,530		49,447	49,447		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	5 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	不明	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
36 /60	各施設に要修繕・要改修箇所が見られるが、今後も計画的に工事・修繕を行い長寿命化を図る。 新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用条件・定員の制限のため、施設貸出の稼働率が想定を下回ったが、今後も感染防止対策を進めながらの貸館事業の進め方を検討する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61101201	事業名称	川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	川口駅前行政センター	問い合わせ先 59-2982	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 2 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	株ホテルオークラエンタープライズ	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の交流、会議、研修等の場を提供することにより、豊かな市民生活と地域社会の発展に寄与する。	①市民ホール利用許可に関する業務 ②市民ホールの利用に関わる料金収納業務 ③施設の維持管理に関する業務 ④セミナー等の会場設営に関する業務 ⑤飲食サービス等に関する業務	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	新型コロナウイルス禍の中、ウイルス感染対策をとりながらホールを利用して供したが、大幅な利用減となった。しかし、広いスペースを活用してソーシャルディスタンスを確保しながら会議が行えるというメリットを提示し、商工会議所他多くの市民に利用された。	項目	実績 単位
		会議・セミナー等	329 件
式典・パーティー等	2 件		
その他	85 件		
事業の成果【定性的評価】	コロナ禍の中、パーティー等飲食を供する利用は大幅に減ったが、地域住民・団体等に交流、会議、研修等の場を提供し、地域社会の発展に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用件数	指標・目標値の説明(算定式)	市民ホールの年間利用件数(会議、式典、その他、催事の開催件数)					
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	645	達成	594	未達成	416	未達成		
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	30目	003細目	02細々目	川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	3,990	3,546		21,791		4,954		4,475		
決算額(B)=(C)+(D)	3,990	3,546		21,791						
財源※	特定財源(C)	1,794	1,008		18,700		500			
	一般財源(D)	2,196	2,538		3,091		4,454			
概算人件費(E)	711	711		711		711		711		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,701	4,257		22,502		5,665		5,186		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全な運用に努めていく。また、現行の設備や備品等についても計画的な補修等に努めていく。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61101301	事業名称	コミュニティセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	環境部	朝日環境センター	問い合わせ先 258-1110(#35-1422)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市コミュニティセンター設置及び管理条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	朝日コミュニティ委員会	主に周辺住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	あさひコミュニティセンターを、地域コミュニティの活動拠点施設として運営することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	指定管理者により以下の業務を行う。 ・施設の貸出等の管理運営業務 ・周辺住民の地域コミュニティ醸成を目的とした自主事業の開催	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	3月24日から休館し、6月23日から感染リスクが高い活動を除き再開したが、町会関係の会議等の利用が主で、コミュニティ活動はほとんど実施できていない。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	各コミュニティ活動が実施できなかったことから成果はなかった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	「あさひコミュニティセンター」の年間利用者数			直近5年間における最高年間利用者数 (年間利用者数:27年度10,395人、28年度9,872人、29年度9,377人、30年度9,020人、元年度7,925人)				
	単位	人	指標の種別	結果	指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	9,020	未達成	7,925	未達成	2,336	未達成		
指標②	名称								
	単位		指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	02項	06目	002細目	05細々目	コミュニティセンター指定管理者管理運営費			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	1,664	1,679	1,694	1,694	1,694					
決算額(B)=(C)+(D)	1,599	1,559	1,481							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	1,599	1,559	1,481	1,694					
概算人件費(E)	790	790	790	790	790					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,389	2,349	2,271	2,484	2,484					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	環境センター建設の際の経緯があり朝日環境センターの所管事業となっているが、「地域コミュニティの充実」を目的とする施設であることから、コミュニティ活動の推進を業務とし、かつ条例・規則を所管している部・課の事業とした方が更なるコミュニティの充実に繋がるのではないかと考える。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61200051	事業名称	市民パートナーステーション施設管理費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	協働推進課	問い合わせ先	227-7633(#61-2903)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援
根拠法令等	川口市立かわぐち市民パートナーステーション設置及び管理条例、川口市立かわぐち市民パートナーステーション管理規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民、市民団体	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の社会貢献活動の支援・促進のために、かわぐち市民パートナーステーションの管理及び運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 市内で活動する社会貢献団体の登録 登録団体への会議室等の貸し出し 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 市内で活動する社会貢献団体の登録 登録団体への会議室等の貸し出し 団体が作成した活動に関するチラシ・ポスターの設置 国や県で実施されている助成金の要綱等の設置 	項目	実績	単位
		登録団体数	344	団体
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルスの影響により休所又は会議室利用の縮小などがあったが、市民団体の登録、活動についての相談や情報提供を行い、活動の支援や促進に繋がった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	NPO法人・ボランティア団体数			指標・目標値の説明(算定式)	かわぐち市民パートナーステーション及び社会福祉法人川口市社会福祉協議会の登録団体数の合算				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	450	500	550	550	550				
	実績値・達成状況	387	未達成	375	未達成	344	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	31目	001細目	01細々目	市民パートナーステーション施設管理費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	11,254	11,903		10,626		13,974	13,974			
決算額(B)=(C)+(D)	8,777	10,149		9,518						
財源※	特定財源(C)	573		368		154	535			
	一般財源(D)	8,204		9,781		9,364	13,439			
概算人件費(E)	27,650		27,650		27,650		27,650		27,650	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.50	0.00	3.50	0.00	3.50	0.00	3.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	36,427		37,799		37,168		41,624		41,624	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	登録申請をする団体も見受けられるが、団体の会員の高齢化等により活動を継続することが難しくなり、登録を取り消す団体も増えている。また、会議室等を利用する団体が固定化してきている。多くの団体にとって魅力ある活動拠点の1つとなるよう周知などを図っていくべきであると考える。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61200101	事業名称	盛人大学事業	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	協働推進課	問い合わせ先	・227-7633	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援
根拠法令等	盛人大学事業実施要領

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	50歳以上の市民及び在勤者	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	50歳からの社会貢献意識が高くなる世代を成熟した盛んなる人「盛人」と呼び、地域への関わりをきっかけづくりとして「盛人大学」において、この世代の知識、経験を生かす場と交流の場をつくることで地域の活性化を図ることを目的とする。	社会教養コースのほか8コース(全9コース)の講座を実施するとともに、大学祭等の課外活動も行なう。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は全講義を中止した。令和3年度から拠点をかわぐち市民パートナーステーションに移転するため、移転後の運営体制について委員会で検討を重ねた。	項目	実績	単位
		盛人大学運営委員会(書面会議を含む)	3	回
		盛人大学実行委員会	4	回
事業の成果【定性的評価】	令和2年度は講義を中止したが、令和3年度の移転に備え、会場や日程の調整を円滑に行うことができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	盛人大学受講者数			指標・目標値の説明(算定式)	定員数の8~9割程度で端数を調整した数として設定した。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	280	280	290	155	155				
	実績値・達成状況	274 未達成	280 達成	0 ー						
指標②	名称	卒業後に社会貢献活動を行った方の人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標①目標値×0.8×0.6 指標①の受講者数目標値に卒業者の概算として0.8を掛け、さらにその6割について端数を調整し目標値とした。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	84 未達成	74 未達成	未調査	ー					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	31目	005細目	01細々目	盛人大学事業				
年度	平成30年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	4,294	4,403			6,001	3,462	1,641				
決算額(B)=(C)+(D)	3,592	3,823			4,879						
財源※	特定財源(C)	53	37			25	0				
	一般財源(D)	3,539	3,786			4,854	3,462				
概算人件費(E)	13,430	11,455			11,455	11,455	11,455				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.70	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	17,022	15,278			16,334	14,917	13,096				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	応募者の半数が過去の受講者であり、目標とする卒業後の社会貢献活動へと結びついていない。講座内容の見直しや受講生への啓発を図るとともに、地域や社会貢献団体と連携し、卒業後円滑に社会貢献活動に移行できるような環境を整備していく。	3年度	効率化して実施
		4年度	効率化して実施
		5年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	61200201	事業名称	市民との協働推進事業	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	協働推進課	問い合わせ先	048-227-7633	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち” - 1 市民が元気に活動するための環境づくり - ② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援
根拠法令等	川口市自治基本条例、川口市協働推進条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、地縁団体、市民団体、川口市、事業者、教育機関等	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	少子高齢化、単身世帯増加、ライフスタイルの変化などの社会環境の変化に応じて、市民ニーズは複雑化・多様化している。細かなニーズに対応し住みやすいまちとするには、市民等と行政の協働が不可欠であり、協働によるまちづくりを展開するため本事業を行う。	協働によるまちづくりを展開するために必要な事業を行っている。具体的には、協働をするための意識啓発、市民等がまちづくりに参加しやすい環境づくり、ボランティア活動の促進、NPO法人等団体への支援である。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市協働推進委員会 NPOに関する講座及び相談会 ボランティア広場 青少年ボランティア育成事業 ボランティア人づくり基金	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルスの影響により主要な事業が中止となる一方で、協働の推進のための意見抽出や市民団体の活動支援、次代の担い手となる青少年に対し、ボランティア体験事業等を実施し、協働やボランティアの土壌が作られた。	川口市協働推進委員会(書面会議)	1 回
		ボランティア広場	25 人
		こどもフリーさろん	35 人

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民活動助成事業助成団体数			指標・目標値の説明(算定式)	協働の担い手である市民団体活動を支援、まちづくりの一助とする目的で支出する市民活動助成金の助成団体数。指標は予算額を助成限度額で割り戻したもの(予算額÷助成限度額)。					
	単位	団体	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	5 未達成	6 達成	6 未達成	6	6					
指標②	名称	青少年ボランティアスクール及びさろん参加者			指標・目標値の説明(算定式)	青少年ボランティア育成事業(ボランティアスクール、こどもフリーさろん、夏休みこどもボランティアさろん)の参加者合計数が1,000人となるように設定					
	単位	団体	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	795 未達成	892 未達成	35 未達成	1,000	1,000					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	31目	002細目	01細々目	市民との協働推進事業				
年度	平成30年度	令和元年度			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	8,032	8,097			8,270		8,991		8,991		
決算額(B)=(C)+(D)	6,074	6,015			492						
財源※	特定財源(C)	5,050	5,009			357		7,478			
	一般財源(D)	1,024	1,006			135		1,513			
概算人件費(E)	22,120	22,120			22,120		22,120		22,120		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00	2.80 0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,194	28,135			22,612		31,111		31,111		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	市民ニーズの多様化や市民団体の動向は常に変化しており、全てを捉えきえることは困難であるが、情報収集を欠かさず、協働の啓発、周知活動を積極的に行う必要がある。また、次代を担う青少年にボランティア体験の機会を設け、ボランティアへの関心を高め、人材として育成することが必要不可欠である。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施